

# つ の い 基 議 会 報 告



第100号 発行者 角井 基 横須賀市佐野町4丁目14

E-mail motoi-ofc@jcom.home.ne.jp

## コロナ感染症への対策を中心に審査

新型コロナウイルスへの対応に関わる補正予算の審査で11月9日に臨時議会、11月27日から12月14日まで12月定例議会が開かれました。定例議会では、コロナ禍で売上げの減った中小企業等への一律8万円の家賃補助など3億円余の補正予算、また、横浜マリノスの練習場整備工事の着工遅れに伴う補正など10億円余を減額する補正予算、市職員と市長ら特別職の期末手当を減額する条例改正などについて審査され、いずれも原案どおり可決されました。

## 中小企業等に一律8万円の補助

11月臨時議会では、11月から翌年4月までの感染者などの検査・移送・入院に関わる費用やスタッフ配置の費用、市の要請により共済病院にPCRセンターを設置・運営することへの補助、65歳以上の無症状高齢者むけの感染症検査の助成など、総額4億円余の補正予算が可決されました。

## ワクチン接種の準備も

減額する条例改正、市職員の時間外勤務を制限する条例改正などについて審査され、いずれも原案どおり可決されました。

また、最終日には、新型コロナウイルスのワクチンを全市民に接種するため13億円余の補正予算が追加提出されました。国はワクチンが入手でき次第、全国民に接種する予定で、その体の構築が必要」と答弁したのですが、その日の夜に同社から電話があつて社長との面談が実現。それ以来交流を続け、それが今日につながっているとのこと。

## 横須賀共済病院に第2PCRセンター

感染症の拡大に備え、11月に共済病院に第2PCRセンターが開設されました。同病院のがけ地側に病院施設とは分離して造られています。1日に150件の検査が可能で、これによって検査体制が大幅に拡充されます。

なお、これに伴い、救急医療センター敷地内のPCRセンターは、検査時間が平日は20時～22時、土曜・日曜・祝日は17時～22時に変更されました。

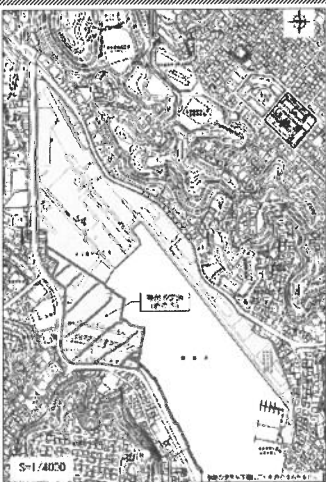
## 新市民病院は7階建て 集中治療室などを充実

教育福祉常任委員会が久里浜に建設される新市立病院の基本計画の概要が報告されました。

コスモス広場の入口、これまでの神明公園の場所に造られるのですが、地上7階建てで、駐車場は180台、診療科は28科、病床数は合計450床で、救急高度治療室20、集中治療室12、脳卒中集中治療室6、新生児集中治療室6などが整備されます。浸水対策として地下は設けず、屋上にはヘリポートが設置されます。来年度に実施設計、その翌年から工事が始まり、開院は4年後の予定です。

## 旧浦賀ドックの一部が市に寄附へ

住友重機械工業の旧浦賀工場の一部が本市に寄附されます。寄附されるのは、歴史的価値の高いレンガドックの周辺部で、



広さは2.7ヘクタールです。以前、日産自動車の佐原工場跡地が市に寄附されたのが今のリーフスタジアムなど、

大規模用地では、それ以来です。上地市長が就任間もない議会で浦賀の街づくりに問われた際、「浦賀ドックの活用は、住友重機との信頼関係

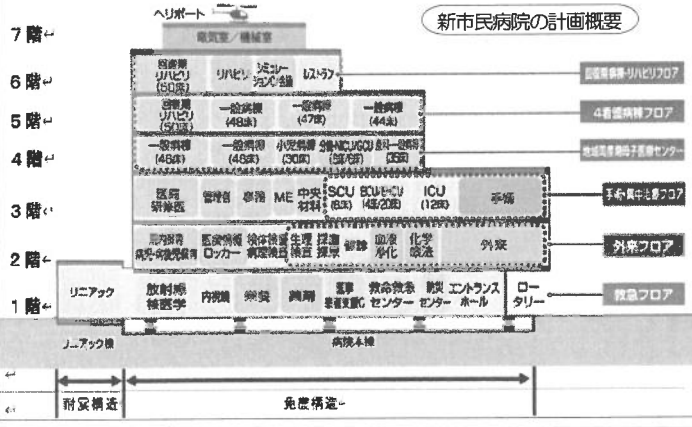
結を目標に、契約に係る手続きなど調整が進められます。

この土地の活用については、今後、庁内で検討を進めるといふことですが、明治以来の造船所であり、土壌が汚染されている可能性も高いことから、新たな施設を造るには土壌改良が必要になるだろうと思われま

す。

なお、救急医療センターの開設時間内に変更したことによって、発熱患者などには受診前に新型コロナウイルスの抗原定性検査といふ振り分け外来機能がつくられました。

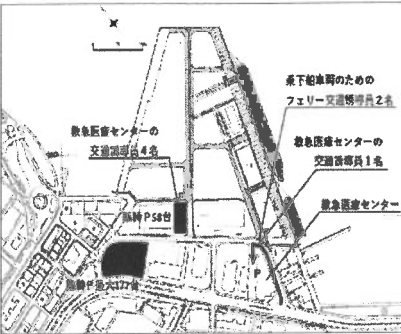
新市民病院の計画概要



# 北九州フェリー就航で訴訟や陳情

## 議会では市側の対応のまずさを指摘

都市整備常任委員会では、北九州とのフェリー就航に向けてターミナルの建設工事が進められていますが、港運事業者から訴訟が起これ、さらに市民の不安払拭を求める陳情が出され



ていることもあって、議会側から市長に説明を求め、それを受けて港運協会との話し合いに立ち会っている田中副市長が出席して答弁にあたりました。

陳情は、フェリー就航で近隣住民の生活に悪影響が懸念されるため、その対策を求めるものです。

市側の説明では「天型のトレーラーは最大154台乗るが、下船したトレーラーはすぐに出ていく。乗船では宅配便を集荷し、乗船では長時間待機することなく、仮にすべてが待機して埠頭内で収まる。救急医療センターではインフルエンザの大

流行の際に夜間の渋滞が発生したが、今後は近くに臨時駐車場を確保して誘導員を配置する。フェリーと埠頭を結ぶ車路や船との接続部分にはゴム状の緩衝材を設置するなどして、騒音は県基準の50デシベル以下に抑える。住民に対して分かりやすく丁寧の説明していく」などとしています。

多くの議員から質問があったのですが、副市長もお詫びしているとおり、住民に対して何度も足を運ぶような姿勢が足りなかったことや、事業者側との協議の不充分さが、今の事態を招いているように感じられました。

# 走水水源地が都市公園に

桜の時期に一般開放されている走水水源地は市内唯一の水源地で、上下水道局が管理しています。この場所は、船舶の行き来する東京湾を展望する良好な景観、広い芝生広場のある自然環境など優れたロケーションに恵まれており、市の1万メートルプロムナード活性化の観点からも、新たな賑わいの創出拠点として期待ができることから、来年度中に都市公園として通年開放されるようになります。

現在も浄水施設があり、この部分は侵入防止柵で仕切られ、立入り禁止となるのですが、それ以外はすべて開放され、芝生広場は8時〜17時の間、駐車場やちびっこ広場などは5時〜21時の間開放される予定です。

ベンチや案内板が設置され、安全対策上、樹木の根などは撤去されます。

都市公園として全面的に供用開始された後は、地域の住民や利用者などの多様化するニーズ



富士山に見える走水水源地

騒音対策では、今後の調査や就航後に委ねられている部分もあり、対応の遅さも厳しく指摘されました。陳情は、全会一致で趣旨了承となっています。

## 現在の自動車積出し

### 今後は減少の見込み

また、自動車の積み出しは今後は減少する見込みとの説明です。群馬にある自動車会社では茨城県常陸那珂港と川崎港が主な積み出し港で、常陸那珂港は拡張されて規模が大きくなり、輸送も本市では1日1往復ですが、2往復です。ただ、リスク分散からゼロになることはないだろうと予想されています。

なお、埠頭内に故意に物件が置かれ、ターミナルの建設に支障の出たことやフェリー就航後は今まで以上に利用調整や管理保全が必要になることから、係

# 無症状高齢者のPCR検査で議論

65歳以上で無症状である高齢者が希望する場合に受けられる感染症検査が始まっています。自己負担額はPCR検査が1万円、抗原検査が1500円で、生活保護の受給者は無料です。期間は今年3月までで、市内50か所の医療機関で実施されます。この予算を審査した教育福祉常任委員会では、その目的に関して多くの質疑がありました。その趣旨は、概ね次の点です。

私の所属している総務常任委員会では次のような審査が行われ、予算は可決されました。▼コロナ禍で失職した人を臨時に雇用し、生活支援をするために1454万円の補正予算が計上されました。市役所内の18課で33人を募集していますが、すでに19人が雇用されています。

## 失職した人を臨時雇用

### キッチンカー導入を支援

また、これとは別に公共施設で有償ボランティアとして消毒作業などに従事するサポートスタッフ事業を実施しています。▼プレミアム付商品券「地元のお店応援券」は、2次販売を含めて17万件余の予定数を超える

れとは別に公共施設で有償ボランティアとして消毒作業などに従事するサポートスタッフ事業を実施しています。▼プレミアム付商品券「地元のお店応援券」は、2次販売を含めて17万件余の予定数を超える

高齢者が感染を心配して外に出ず、引きこもりの状況が多いことから、安心して活動できるようにするためという目的ですが、PCR検査を受けることで外出が増えるか、という自分の感覚していないことが分かるのみで、外出すれば感染するリスクは高くなり、果たして外出が増えるだろうか、ということですが、また、行政がそれを促しているのか、ということもあります。

**議会報告が100号に**  
おかげさまで「ついの基議会報告」は、この号で第100号をむかえました。これから、分かりやすい市政の報告に努めていきます。

この補助制度には国からの交付金が充てられるのですが、元は私たちの納める税金です。また、生活保護受給者の1万円分は市のコロナ対策基金から出されるのですが、これも元は税で補助の必要性について、会派内では、こうした根本的な議論もありました。

申し込みがあり、全体で92%が購入されました。利用できる店舗数は計2千店舗で、そのうち26%が飲食店、14%が飲食料品店でした。▼コロナ禍で影響を受けた飲食店を対象に、利用しやすい「キッチンカー」などの移動販売の手法を伝える事業が行われます。具体的には、準備や運営のセミナー開催、相談会、キッチンカー・トライアルの実施、市内公園でのキッチンカーを活用したマルシェ開催などで、103万円が計上され、一般社団・日本移動販売協会に業務委託して行われます。